

参考 省エネルギー機器の内容説明の記載について

【1】評価要素

表彰対象候補機器の審査にあたり、申請機器に関して、以下の 5 つの評価要素を中心に判定致しますので、各項目について、記載漏れの無いようお願い致します。

- ① 技術が独創性を有しているか
- ② エネルギーの効率的利用を推進するものであるか
- ③ 経済性の面ですぐれているか
- ④ ある程度実績を有し、かつ今後相当程度の普及が見込まれるか
- ⑤ 安全性・メンテナンス性及び環境に及ぼす影響も考慮しているか

【2】具体的な記載方法

機器の内容説明は、1. 省エネルギー機器の概要、2. 省エネルギー機器の詳細説明に分かれています。記入に当たっての注意事項および記載例を付していますので、参考にしてください。

1. 省エネルギー機器の概要

1 枚に収まるよう要領よくまとめて記載して下さい。

2. 省エネルギー機器の詳細説明

図表、写真なども加えて、具体的に記載して下さい。記載内容は本用紙のスペースにとられる必要はありません。ただし、可能な限り 10 枚以内に収まるよう記載して下さい。

2.1 機器の詳細

2.2 開発及び実用化の経過

当該機器の開発及び実用化に関して、技術導入がある場合はその旨明記し、その後の技術改良との関連を記入して下さい。

2.3 機器の技術的特徴(①技術の独創性、②省エネ性(効率性)、③安全性・メンテナンス性及び環境への影響など)

①技術の独創性では、機器の技術的独創性、先見性、他社類似品との比較などについて、具体的に記載して下さい。

②省エネ性(効率性)については、実用化されている同種のものがある場合、その機器と比較し、エネルギーの効率的利用の面で優れた効果を発揮していることを中心とする簡潔な説明を記載するとともに、＜記載例＞のような従来型又は自社従来製品との対比表を作成して下さい。また、入手できる範囲で他社類似品の数値を記載して下さい。

③安全性・メンテナンス性及び環境への影響については、可能な限り定量的に表現して下さい。特に基準がある場合には基準値に対する達成度を明記して下さい。また、基準がない場合はどのような配慮を行ったかを記述して下さい。

＜比較表記載例＞

ボイラの従来機との性能、効率、環境諸元比較表の例

他社類似品がある場合はそれらとの比較表も別途作成のこと

	従 来 機	申 請 機	差	備考
蒸気量 [t/年]				
システム効率 [%]				低位発熱量基準
燃料消費量 [m ³ N]				
燃料代 [円/m ³ N]				
電力消費量 [kWh]				
電力代 [千円/年]				
CO ₂ 排出量 [t-CO ₂ /年]				

条件：負荷率、運転時間、燃料種類・発熱量・単価、電力単価

その他の機器では、適切な項目を選択して比較表を作成のこと。

例えば、脱水機などでは、工業用水、薬品種類・単価、排出汚泥などの購入費用及び埋め立て費用などの費用を含め、比較表を作成のこと。

2.4 経済性

機器の価格、維持管理に必要な経費等の総合的な経済性の判断に必要な具体的な事柄を中心とする簡潔な説明を省エネルギー効果も含めて記載するとともに、＜記載例＞のような従来型又は自社従来製品との比較表を作成して下さい。

<比較表記載例>

(単位：千円)

	従来機	申請機	差	備考
注 1)			A	
注 2)			B	
			C=A/B	

※注1)、注2)は必要に応じてコスト明細（内訳）を明示して下さい。

2.5 当該機器に関わる特許等の取得状況

出願中のものも含み、概ね過去5年以内の状況を記載して下さい。

2.6 その他参考となるべき事項

当該機器に関する受賞の有無、ならびに国、公共機関、団体等からの補助金又は助成援助の有無等を記載して下さい。

2.7 機器の販売実績及び利用状況

次の内容等について記載して下さい。

- (1) 納入先会社名及び事業者名（秘としたい場合は、A、B、C会社等の表示も可）
- (2) 納入時期および数量
- (3) 納入先における稼働実績
- (4) 納入先における増設希望の有無
- (5) 納入先における改良所見等
- (6) 当該機器の国内、国外シェア（類似機器の国内稼働数または年間販売台数などを勘案）

(別添)

省エネルギー機器の説明内容

(申請者名) _____ {会社名または団体名}

(機 器 名)

1. 省エネルギー機器の概要 (1枚に要領よくまとめてください)

機器の概要、技術的特徴 (①独創性、②省エネ性、③安全性・メンテナンス性及び環境への影響など)、導入のメリット (経済性など) および販売実績について

2. 省エネルギー機器の詳細説明（10枚以内にまとめてください）

2.1 機器の詳細

2.2 開発及び実用化の経過

2.3 機器の技術的特徴(①技術の独創性、②省エネ性(効率性)、③安全性・メンテナンス性及び環境への影響など)

(2.3 機器の技術的特徴の続き)

2.4 経済性

2.5 当該機器に関わる特許等の取得状況

2.6 その他参考となるべき事項

2.7 機器の販売実績及び利用状況